２０１４年１２月２０日

山手地区団委員長・地区役員各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　世界ｽｶｳﾄｼﾞｬﾝﾎﾞﾘｰ実行委員会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員長　宇津木　太

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ホームステイ担当　松尾　史生

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　コミッショナー　　山口　美紀

世界スカウトジャンボリーにおける地区ホームステイ受け入れの進め方（案）

1. 東京連盟から正式に日程、人数が来る３月頃を目途に地区ホームステイ委員会

をホームステイ受け入れ予定団から委員を募り、発足する。

委員会では、各団の受け入れ計画準備に基づき、地区受入準備・実施計画書を

７月初旬までに作成して、別途配信する地区寄付金のホームステイ家庭（又はグループ）配分も順次開始する。

1. 現時点は３０家庭（２人１組バデイーが原則）を受け入れ計画です。
2. 現時点では不明ですが、山手地区は大会終了後になる可能性が高く、各団におか

れましては夏季舎営、夏季キャンプを予定している団もあるでしょうが、滅多に交流

のチャンスのない東欧諸国などと（ハンガリー、ポーランド、チェコ）のスカウトと地区内ＢＶＳ隊～ＶＳ隊スカウトが言葉の壁を越えて正に肌と肌を触れ合える最大のスカウテイング機会です。来期各団夏季方針を変更してでも地区内スカウト・地域の

子供にその機会を逸失しないようご協力お願いいたします

1. 現在、お願いしている予備調査は、上記スカウトとスカウトとの最大機会だという

考え方で団会議、団委員会において議論がすすんでいない可能性もありますが、

東京連盟、日本連盟に２月理事会に大体の引き受け家庭数と一応、希望日程を

提出する必要がありますので、受入家庭（協力的な非加盟員含む）がある程度、把

握できている団は松尾までメールを別添で１２月２７日までにご提出お願いします。

1. グループステイ（寺院、教会利用）や食事・泊分離型、団におけるバーベＱ等の企画

については、３月に発足する地区ホームステイ委員会で各団意向を随時情報収集して調整していきます。